学校長先生
音楽ご担当先生

弊社発行の『小学生の音楽　教師用指導書』（令和２年度～）に誤りがございました。ご採用いただいている先生方にご迷惑をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

たいへん恐れ入りますが，ご指導にあたりましてはご留意いただきたく，よろしくお願い申し上げます。

書名 学年	ページ	箇所	誤	正
研究編 ２年	168	「おもちゃの シンフォニー第１楽章」 の鑑賞資料	作曲者がレオポルト モーツァルトになって いる。	作曲者エトムント アンゲラーの内容で訂正する。 別紙参照（２枚目）
研究編 ３年	133	「ゆかいなまきば」の 楽曲解説	解説文が別曲の内容となっている。	正しい文章と差し替える。 別紙参照（３枚目）
実践編 ６年	55	ガムランの楽器の名前についての説明（赤字）	トロンポンがレヨンと示されている。	トロンポンとレヨンの位置を正しく示す。 別紙参照（４枚目）

エンターテイナー

●作曲者について

スコット ジョプリン（1868～1917）は，アメリカの作曲家，ピアニストである。幼い頃から音楽的才能を示し，理解ある両親や周囲の音楽教師の教えもあり，その能力は着実に高まっていった。20代の頃からセントルイスやシカゴなどでピアノ演奏の仕事を続ける傍ら，ヨーロッパ音楽の勉強にも力を注いだ。彼が追求していたのは，ヨーロッパのクラシック音楽とアフリカ系の音楽を融合させることであり，それはのちに「ラグタイム」という新しい演奏スタイルと音楽ジャンルの確立につながった。

19世紀末から20世紀初頭のアメリカにおいて，「ラグタイム」は大いに流行した。

伴奏部の左手が通常の2拍子を刻む一方で，右手はオフ ビートによる鋭いシンコペーションを伴った旋律を奏するという形が，典型的な奏法である。以前，ジャズとラグが混同されていた時期があったが，即興性を重視するジャズに対し，ラグはあくまで楽譜どおりに演奏するという点で，二つは大きく異なる。

1899年に作曲した「メープル リーフ ラグ」がヒットしたことにより，彼は「ラグタイム王」と呼ばれるようになり，その後ラグタイムのスタイルによる数多くの曲を発表した。

●曲について

1902年に作曲された「エンターテイナー」は，彼の代表的な作品であると同時に，ラグタイムを代表する曲として世界的に知られた作品である。1973年には当時大ヒットした映画「スティング」の中でも使用され，音楽部門でアカデミー賞を受賞した。これをきっかけとして，ラグタイムが再び世間の注目を浴びるようになった。

原曲はピアノ独奏曲だが，鑑賞用CDにはリチャード ヘイマンがバンド用に編曲したものが収録されている。

参 おもちゃのシンフォニー 第1楽章

●作曲者について

エトムント アンゲラー（1740～1794）は，オーストリアのチロル出身の作曲家，神父である。幼少期に父親から音楽の手ほどきを受け，1758年に当時チロルでは，音楽で有名だったベネディクト派のフィエヒト修道院に入り，音楽を学んだ。のちにその修道院の聖歌隊長と修道院学校の音楽教師を務めた。また，彼はシュタムス修道院とも関係があり，何度か訪れ，自作曲を演奏することもあった。

アンゲラーは数多くの教会作品やオペラ，ジングシュピールを作曲したが，1868年のフィエヒト修道院の火災で多くの作品が失われた。修道院や博物館に残された資料（写本などのコピー）から，アンゲラーの作品に関する研究が行われている。

●曲について

これまでヨーゼフ ハイドン，またはその弟のミヒャエル ハイドン，またはレオポルト モーツァルト（ヴォルフガング アマデウス モーツァルトの父）の作曲とされてきた。しかし，1990年代になって，チロルにあるシュタムス修道院から，この地方出身のエトムント アンゲラーによって1770年頃に作曲されたという新しい資料が発見された。その資料には，「BERChtolds-Gaden Musick」のタイトルが付けられている。このタイトルはおそらく造語であり，18世紀の頃から木製玩具で知られているドイツのベルヒテスガーデンの街で作られたおもちゃの楽器を示していると考えられている。

この曲はハ長調，3楽章からなり，第1楽章は4分の4拍子，ソナタ形式のリズミカルで愉快な曲調。第2楽章は4分の3拍子のゆっくりとした情緒豊かなメヌエット。第3楽章は8分の3拍子で，ジーグ風の短い旋律が3回繰り返される。しだいに速度を増し，おもちゃの音色もにぎやかになったところで曲は締めくくられる。

歌い継がれている。

A(a4+a'3) + B(b4+b'4)による構成による(Bの始まりの"ラララ"は弱起部分として小節数には数えていない)。全体を二部形式と考えるよりは，Aが導入部分でBが本体(一部形式)と考えたほうが自然かもしれない。楽譜にあるように「やさしい気持ち」になって，歌詞のメッセージを大切に歌いたい。

ゴー ゴー ゴー（運動会の歌）

花岡 恵 作詞／橋本祥路 作曲

運動会の応援歌として作曲されたオリジナルの愛唱曲。1［赤組・みどり組の歌］と，2［白組・青組の歌］は，それぞれ独立して歌うことができるのはもちろん，2曲を同時に重ね合わせて歌うこともできるようにつくられている。1，2ともに，A(a4+b4)＋B(c4+d4)の二部形式である。

また あそぼ

織田ゆり子 作詞／上柴はじめ 作曲

NHKの教育番組「ふえはうたう」のためにつくられた作品。オリジナルの部分（8小節）にわらべうたの断片（歌2小節＋リコーダー2小節）が添えられる自由な形式。1番には「ゆうやけこやけ」，2番には「いちばんぼし みつけた」，3番には「あしたてんきになあれ」がそれぞれ添えられている。わらべうたの断片はどれも2小節と短く，歌のニュアンスをリコーダーでまねる形になっているため，表情豊かなリコーダーの表現を学ぶことができる。

Head, Shoulders, Knees And Toes

作詞・作曲者不明

頭，肩，ひざ，つま先，といった体の部分の名称による英語の歌。体を動かしながら英語に親しめるので，英語教育の場でも広く歌われている。

a4+a'4の一部形式。拍に乗って歌ったり体を動かしたりすることが重要である。慣れてきたらだんだん速くしていくなど，ゲーム性をもたせても面白い。

ゆかいなまきば

アメリカ民謡／赤羽耕史郎 編曲

原曲は有名なアメリカ民謡で，リコーダーの二部合奏のために編曲されている。

A(a4+a4) + B(b4+a4) の二部形式。1のパートはレ〜シ，2のパートはレ〜$\overline{レ}$の音域で書かれている。2つのパートの重なり方が頻繁に変わるので，互いによく聴き合って演奏する楽しさを味わえる。

よろこびの歌

ベートーベン 作曲★

ベートーベン作曲「交響曲第9番」第4楽章のテーマ部分を抜き出したもの。A(a4+a'4)＋B(b4+a'4)の二部形式。12小節目に現れる低いレの音以外は，すべての音が左手の運指だけで演奏できる。また，低いレも1回だけなので，目的意識をもって挑戦することができる。

ミッキーマウス マーチ

ジミー ドッド 作曲／石桁冬樹 編曲

ディズニーのキャラクターであるミッキーマウスのテーマ曲。身近な楽器で取り組める合奏教材である。楽器編成を変えながら繰り返すと演奏時間も長くなり，各種行事の行進場面において伴奏音楽として活用することができる。前奏(4)＋A(a4+a'4)＋A(a4+a'4)＋B(b4+c4)＋A'(a4+a'6)の自由な形式だが，全体を大きくとらえると，AABA'の二部形式と考えることもできる。

実践編　６年　55ページ

● 音楽の雰囲気のちがいに気を付けながら，
それぞれの国の人々が大切に伝えている音楽をききましょう。

モンゴル語で「長い歌」という意味の民謡

オルティンドー
（モンゴル）

オルティンドーは，モンゴルに古くから伝わる民謡で，拍のない自由なリズムで歌われるのが特徴です。モリンホール（馬頭琴）という弦楽器などで伴奏することもあります。

ホーミーと並び，モンゴルを代表する民族音楽で，息の長い発声，高音強調，細かい装飾音が特徴。

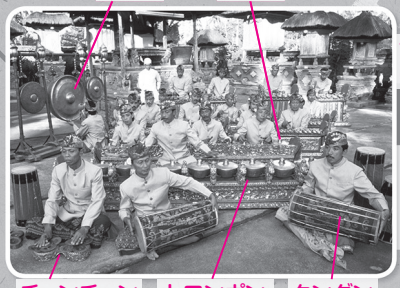
モリンホール（馬頭琴）

フォルクローレ
（ペルー，ボリビアなど）

フォルクローレは，南アメリカのアンデス地方に伝わる音楽です。アンデス地方のいろいろな楽器を組み合わせて合奏されるのが特徴で，歌が加わることもあります。

サンポーニャ　ケーナ　チャランゴ

世界のいろいろな国の音楽や楽器について，図書室やインターネットで調べてみるのもいいね。



ゴング　レヨン　チェンチェン　トロンポン　クンダン

古代ジャワ語の「たたく，打つ，つかむ」の意味をもつガムルに由来する。

ガムラン
（インドネシア）

ガムランは，インドネシアに古くから伝わる音楽です。金属製の打楽器を中心にした合奏で演奏されます。

主に青銅製のものが多く，音が最も美しいとされている。

写真はバリ島のガムラン

楽器やアンサンブルについて

音色　旋律　音の重なり　拍